

## 小児救急集中治療科フェロー募集

当院は開院以来、阪神南北医療圏の小児中核病院として、1次から3次まで内因性・外因性を問わず小児救急患者を受け入れてきました。平成29年には小児救命救急センターの指定も受けました。

小児救命救急センターでは、1次～2次救急診療を小児科が、3次救急診療とそれに引き続くPICU（小児集中治療室）における集中治療管理を当科が担当しています。

救急の現場において患者の重症度に明確な線引きはなく、小児科と小児救急集中治療科が常に協働することで、重症患者をいち早く吸い上げる体制が整っています。そして、初期対応を受けた重症患者は速やかにPICUに収容され、集中治療管理が開始されます。

また、当院では小児外科医、脳神経外科医、整形外科医、その他診療科（放射線科、形成外科、歯科口腔外科など）のバックアップが常に受けられる体制にあり、あらゆる疾患に対応が可能です。

そして、当科は小児救急における病院前救急診療への取り組みとして、「小児ドクターカー」も運用しています。昨年度の要請件数は399件と他の施設の成人のドクターカーと比べても遜色のない実績です。

PICUはclosed ICUの形態で運用しています。つまり、診断から治療方針の決定、必要な処置を小児救急集中治療科の医師が中心となって行います。もちろん、各診療科、臨床工学技士、薬剤師、栄養士など各専門職とも連携しています。今年度からは小児心臓血管外科術後もPICUで管理するようになり、救急から術後まで小児集中治療管理の全てを学ぶことができます。加えて、集中治療専門医研修施設の認定を受けており、専門医取得後であれば1年間の専従研修で集中治療専門医の受験資格を得られます。

当院は48診療科を標榜する総合病院であり、各人のキャリアプランに基づいて院内研修を受けることが可能です。その他、県立病院群や提携施設における院外研修にも応じます。

病院前からPICUへとシームレスにつながる小児救命救急医療は当院でしか学べないものであると自負しています。是非一度見学にお越しください。